
迷宮の掃除屋

あお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

迷宮の掃除屋

【Nコード】

N8219Y

【作者名】

あお

【あらすじ】

モンスター主人公の迷宮モノ だけにとどまるのか

主人公にはいじめられっこ属性がついてきます。それでも逞しく生きていってくれたらいいなあ。

1

まだ夜中だろうにふと目を覚ましたんだ。

”まだ夜中だよな”と枕元にある時計を確認しようとしたら、うん？首が動かない。その上、目の前が真っ暗だ。

うん、夜中だからね、暗くてもおかしくないよね。

でも何も見えないっていうのはおかしい――って認識した瞬間に恐怖に囚われたんだ。

頭から血の気が下がり、袋がキュウウって縮こまる感じ、わかつてくれるかな？（いやわからない人もいるよね）

と益体もないことを考えつつ、これは金縛りって奴だろうかとも考えてた。

今までの経験では――っていつでも本当の金縛りなのか、金縛りの夢を見たのかはわからないけど――息苦しくはあったけど、目を開けて薄暗いながらも部屋の中を見ることは出来たんだよな。

でも今回のコレは何か違う、何かヤバい感じが、周りの雰囲気がおかしい感じがする。

何か冷たい感じが――まるで石棺の中のような――いや、そんなものに入ったことはないのだけど――自分の周りを取り囲んでいるような、そんな閉塞感に暴れまわりたくなる衝動が湧き上がる。

けど、動けない。暴れるために腕を振り回そうとして――その命令が届く先がないことに気付く。

”無い”なんて事は”無い”だろう！？

ヤバい、おかしい、キュウウ――で頭の中が一杯になりそうだ。

必死に、そう溺れかけた事がある人がいればわかるんだろうけど、何か掴まえることが出来るものがないかと必死になって腕を伸ばそ

うとするんだけど、腕も伸びず、何も掴まえる事が出来ない。そのことがさらに暴れまわりたい衝動を加速させ、頭を左右に振り回して何か、何でもいいから見れないか確認しようとする――けど、首も動かない。再度頭からザーっと血の気が引いていく感じが――

というか、頭は何処だ？

という、人として生まれて初めての疑問に、何故か逆に可笑しさが込み上がってくる。

なにその、頭はドコーって、どこぞの化物か。ハハっ。夜中に起きたら首が無かった件について、なんて脳内スレを立ててしまいうだよ。まあスグに落ちそうなんだけどね。

なんて事を余裕ぶって考えるようにしてる。未だに腹の底が冷えるようなそんな感覚は巢食っているけれど、またさっきのようなパニックをおこしていたんじゃ何も状況が把握できないしね。

というわけで状況を確認してみよう。

まず、目の前は真っ暗のままで何も見えない。ドキドキはしているけれど何も聞こえない。臭い……もしない。いや、夢で臭いを感じたことも無いし、それはいいとしておこう。

体の感覚……頭と腕は無いことは確認済みだけれど、足はあるのかなあ。と足を伸ばそうとしてみるけど……うん、無いね。まるでそこに段があると勘違いして足を持ち上げて踏みあがろうとしたけれど、実際にはそこにはなくて、スコツとしちゃったような感じ。誰でも経験あるよね？

となると残るは胴体だけかあ。芋虫にでもなった夢を見ているのかあ。このような体験で快楽を得られる人なら楽しめるのかなあ。変わってあげたいなあ（切実）

まだ腹の底が冷えるような感覚が残っているなあ。おかしいな、

実際に冷えているだけなのかな。しまったなあ、お腹壊しやすいのに。いや超特急で行ってしまふ分には構わないのだけど、その直前にお腹が痛くなるのがなあ。っと思いが逸れた。腹の下には何かがあるのかな？

ところで、腹または背中では何かを探ってみたことがありますか？
僕はないです。

あ、誰かの心の中の声が聞こえてきました、なになに、恋人の体？ ふうん。

リア 充 爆 発 し ろ ！ ！

しつかり聞け！？ リア 充 爆 発 し ろ ！ ！

まったく！人にもわかるような例を挙げてくれ！僕にはわからないよー！！？

ごほん、うん、脳内でこんなこと考えてるなんて人に知られたら恥ずかしくて死にたくなるよね（素に戻った）ちよっとパトスがあふれでてしまったよ。ハハハ。

で、やっぱりお腹で物を探るって、ちよっと難しい気がするんだよね。傷つきそうで痛いのも嫌だし。でも仕方ないか。ちよっとお腹を動かして……ってお腹は膨らませる・へっこませるの2パターンしか出来くない？それでどうやって探ればいいのかな！？

むーん、尺取虫のように前を持ち上げて、叩き落す「痛そう、しかないのかなあ。夢の中でまで痛いのは嫌だなあ。あ、そうか、逆に考えればいいのか、夢だから痛くてもイイ！と。

”痛くてもイイ！”だけを抜き取るとなにか別の性癖まで目覚め

てしまいそんな物の言い方だなあ……（鬱）

よし、覚悟は決まった。背筋を駆使して前を持ち上げるのだ！うなれ背筋！

うなれ！うなれ！！

……うなれってゲシュタルト崩壊しやすいよね（現実逃避）
そうだよ、芋虫に背筋なんてあるわけないよね（偏見）

地べたを這い蹲って、舐めるように生きていくしかないんだよね。
こんな夢みたくなかったよ（涙）

というわけで這い蹲^{はつくば}って、舐めるように腹の下を確認してみました（泣）。結構滑らかだけど硬い？感じがしています。石でしょうか。石の床。^{フローリング}木の床ですらありません。夢確定ですね。柔らかくて暖かい布団が恋しいです。

口調がおかしい？芋虫ですから。ついへりくだった物言いになっ
てしまうのかもしれないと思っていただけたら幸いにございます。
なにせ今の僕は地べたを這い蹲^{はつくば}って（ry

這い蹲るというイメージで出来るようになったことが御座いました。腹をこう、ウネウネと動かすことで移動することで御座います。連想するのはアレですね、ナメクジ。窓ガラスの外側をゆったりと歩いて？いる所を想像するとわかりやすいかと思いますが、あの腹のウネウネ。アレを想像して、いや想像するのも嫌だというお方も御座いましょうが、実際に見てみるとつい引き込まれるような摩訶不思議な動きをしているものです、怖いもの見たさも含め、機会がありましたらいかがでしょうか？大丈夫、噛み付きませんよ。

かたつむりなら可愛いイメージも御座いましょうが、自身の確認ができないとなると殻があるのかということもわかりません。なのでナメクジ。芋虫なのかナメクジなのか、はたまた別のものなのか。

夢なら早く醒めて頂きたいものです（泣）

#1 (後書き)

- A) 芋虫
- B) ナメクジ
- C) それ以外

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8219y/>

迷宮の掃除屋

2011年11月24日14時45分発行